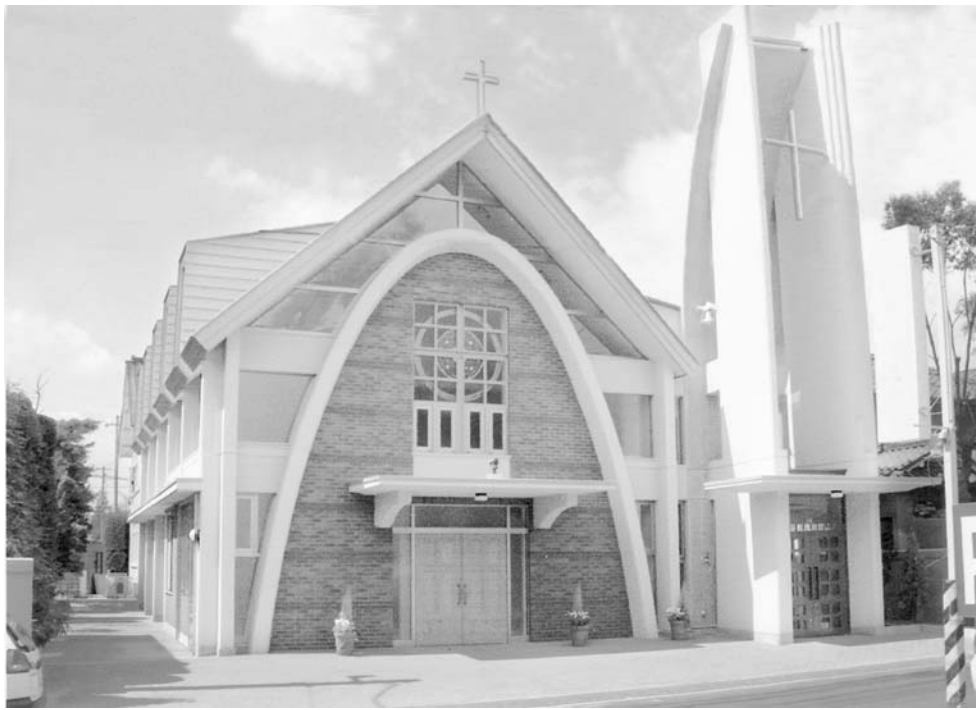


教団新報

定価 1部140円(本体133円+共200円)
 予約購読料 1年分 5,000円
 紙代のみ 3,500円
 振替 00140 9 145275
 本紙を購読ご希望の方は、前金を
 そえて、お近くのキリスト教書店
 へお申し込み下さい。
 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
 169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
 日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546
 FAX 03(3207)3918
 発行人 内藤留幸
 編集主筆 竹澤知代志
 印刷所 株式会社きかんし



郡山教会 (東北教区・福島分区)

神はご自分にかたどって
 人を創造された
 創世記1章27節

メッセージ

創世記1章27節

キリストの聖につながって



福島純雄

人間の聖なる像を自覚させる

20数年の牧師生活の中で
 読んだ本から、忘れ得ない
 幾つもの言葉をいただいた
 きました。その一つに次
 のようなものがあります。
 ユダヤ人思想家A・J・ヘ
 シェルの「人間の聖なる像
 を自覚させる。おそらくこ
 れが宗教教育における中心
 的課題である」という文
 章です。(『神と人間のあい
 だ』教文館、357頁)私
 は、「宗教教育」という言
 葉を礼拝とか信仰生活にお
 きかえて、牧会の何よりも
 の課題を教示してくれる言
 葉としていつも心に刻んで
 きました。
 では、この人間の聖なる
 像とはどのようなものでし
 ょうか。ヘシェルもそのと
 りでふれていますし、す
 ぐに私たちが思い至るの
 は、冒頭に掲げた創世記1
 章27節の御言葉です。いわ
 ゆる『神の似姿』と呼ばれ
 るものですが、この内容を
 私は、創世記1章全体から
 次のようにとらえてきまし
 た。

神が私たちに刻んだ聖なる像

こうした御言葉から、神
 が私たちに刻んだ聖なる像
 とは、私たちが良いもの・
 美しいものを創造すること
 のできる力だということが
 できます。ところで、創造
 性とはおのずと環境や周り
 の事物に積極的・主体的に
 係わり、物事を変革してゆ
 くこととして現れます。そ
 こで創世記1章28節では
 「従わせよ、支配せよ」と
 の祝福が与えられているの
 です。
 このように聖なる像をと
 らえる所から、幾つかの洞
 察や慰め・励ましを与えら
 れます。
 まず第一には、この聖な
 る像は、永遠なる神様から
 来する像であり、神様から
 授かった永遠の宝なのです
 から、どんなことがあつて
 も損なわれたり喪失される
 ものではないということ
 です。どこまでも私たちが人
 間の中にあつて、その輝きを
 失うことはないのです。パ
 ウロが言うように、「このよ
 うな宝を土の器の中に持つ
 ている」のです。
 私たちはしばしば土の器
 たる心身の壊れや破れに左
 右されます。土の器を取り
 巻く社会的・経済的な事柄
 に支配されます。所詮は奴
 隷なのだ!と嘆きます。し
 かし私たちが土の器の中に
 決して損なわれ得ない宝を
 持つており、これを用い、
 それこそイエスさまがタラ
 ントのたとえ話で言われた
 ように、『商売をして利
 益を上げ、人生を新しく良
 いものに創造してゆけるも
 のなのです。』

我々でも別の人間になれる

これもまた、忘れ得ぬ出
 来ない文章の一つですが、自ら
 がヒトラーの強制収容所を生
 き延び、長くアメリカで精神
 科医として活躍した・E・F
 ラッセルが、ある著作の中で次
 のようなことを書いていました
 (『宿命を越えて、自己を越え
 て』春秋社、12頁以下)。
 重罪人ばかりを収容する
 サン・クエンティン刑務所で講
 演したときのこと、囚人はた
 なな感想をもらしたそうです。
 「沢山の心理学者や精神科
 医が来て、あなたがたがどう
 なたのは、あなたがたのせい
 はなく、(あなたがた自身で
 どうしようもない)過去や子
 供時代のせいだと言ってくれ
 る。それは彼らを慰め力付ける
 ために言うわけですが、そう
 われると、首に石臼をぶらさ
 げられていながらの彼らは
 感じます。過去や子供時代に
 支配されるようにもならない
 人生だと烙印を押されている
 ように感じられるわけです。
 と、私がラッセルは違いま
 した。我々でも、自分の運命
 を、曲がりなりにも手中にお
 さめることができる。我々も
 別の人間になれる」と言てく
 れた。

永遠の宝の誤用は永遠の被書

さて第一の洞察は次のよう
 なことです。これは第一のこ
 とと表裏一体をなす事柄だと
 言えてよいと思いますが、このよ
 うな永遠の宝を預かっている
 とすれば、これをその本来の用
 途に用いず、誤ら使用をした
 ときには、そこから生じる被
 書はまさに最大なものとな
 るということです。永遠の宝の
 誤用は永遠の被書をもたら
 するのです。
 創世記3章の物語は、まさ
 に誤用する私たちの姿を描い
 たものと見ておくことができます。
 人類最初の結婚の直後の夫

ただお一人の全き似姿

だからこそ第三に、私た
 ちはこの宝を誤用すること
 なく、本来の用途にこれを
 用いなくてはなりません。
 そしてその源は、私たちが自
 身から来るものではなく神か
 ら授かったものだということ
 を、聖書を通して示されて
 いた。
 この「かたち」とは、創世
 記に言う「似姿」と同じ内
 容なのか神学的なことは私
 にはわかりませんが、私は
 同じ事柄を受け止めます。
 キリストはその神の形・
 似姿を、私共とは正反対に
 十字架の死に至るまでご自
 分を空しくし、低くされる
 ことで現されました。私は
 そここそ、キリストの創
 造性があり主体性と支配性
 の発露があり、美しさまた
 良さがあると信じています。
 だからこそ、このお方を
 信じ、洗礼を授けられてこ
 の方につながられ、この方
 の聖をいただくことこそ
 が、私たちに与って聖なる
 像を回復するただ一つの手
 段なのだと思えます。
 (郡山教会牧師)

『教団新報』発行予定について
 10月25日(月)に開催される第36総会期第6回常議
 員会、10月26日(火)〜28日(木)に開催される第37
 回教団総会の報道の関係上、次号を4710・471
 1(合併号)とし、11月6日(土)に、4712号を総会
 報告号とし、12月4日(土)に発行致します。
 総幹事 内藤留幸

訪問先教会の礼拝説教を委員が担当

第 6 回伝道委員会



呉平安教会(西中国教区、広島西分区)での祈禱会后

第36総会期第6回伝道委員会は9月13日(月)〜14日(火)西中国教区・呉平安教会で開催された。前日の9月12日(日)に

は、教団伝道委員会による伝道応援が新たな形で実施され、米倉美佐男委員長が呉平安教会の特別伝道礼拝と伝道懇談を、竹井眞人委員長が広島教会の主日礼拝を担当した。今総会期における一つの大きなチャレンジであったと言える。開会礼拝では、岩田昌路委員からマルコ福音書1章21〜28節より、キリストの驚くべき力に支えられる伝道について奨めがあった。議事録承認のあと、業務報告、会計報告、第5回教団常議員会報告、「信徒の友」「こころの友」編集委員会報告、日本基督教団教誨師会運営委員会報告、第41回開拓伝道協議会報告が、各委員、担当幹事よりなされ、承認された。今回委員会の協議事項は以下のものである。○2010年度前期分貸出金申請の件では、東海教区の石和教会から申請があり

書類審査の後に200万円の貸出が承認された。○プロテストメント日本伝道150年記念小冊子は10月初旬に日本キリスト教団出版局から発行されることが感謝の内に報告された。○伝道アイデアアンケートは、夏の実務作業が遅れていたが、アンケート内容を確定し、すぐに発送作業に入ることになった。回答内容を集計してパンフレットにまとめ、次期総会期の第1回伝道委員会の開催(2月)までに完成させたい。○第8回「農」に関する協議会は、2012年2月に開催することを確認し、開催候補地としては、四国、西中国、西東京の3教区が挙げられた。○前日の伝道応援について



呉平安教会の祈禱会で奨励する米倉委員長

「父の棺をいれるために大きな鉛の縁のある石棺の蓋を引き開けたとき、ほくは神が人間をすべて蒐集していることがわかった。父が暗闇へと下ろされていくとき、ほくはようやく気付いた。ほくの選択肢なんかないのだ。ほくらは死んだら神のもとへ行かなければならない。中略：ぼくらの重い死体は十字架のしるしの下に押し込まれるのだ。大きなゴミ容器となら変わらない。神は、がらくた蒐集家なのだ。『望楼館追想』文春文庫。冒

3 年 年 教 会 教 育 プ ロ グ ラ ム 決 定

第 6 回 教 育 委 員 会

第36総会期第6回教育委員会が、9月6日(月)〜7日(火)、教団会議室で開催された。報告事項として、2009年度のクリスマス献金に際して、教会学校応援セットを贈呈した教会への問安報告、2010年のクリスマス献金に関する協議事項、教会教育プログラム策定に関する事項などが挙げられるが、特に台湾基督教長老教会との青年交流プロジェクトであるユースミッションについて感謝をもって報告がなされた。委員会初日の夜、ユース

協議事項として、2010年クリスマス献金に際して協議され2010年クリスマス献金の送り先が、海外の台湾基督教長老教会関係の児童施設と、南西ドイツ宣教会を通じてバノのユネアスファミリーに、国内の栄光園(児童養護施設・大分県別府市)とカノの園・奥中山学園(児童施設・岩手県一戸町)に決定された。また教会学校応援セットも継続し、困難な中に教会教育の働きを押し進めようとする教会学校を共に覚えて応援するプログラムを実施する。

2011年度から3カ年の教会教育プログラムが決定され、はじめの年度である2011年度の教会教育プログラムが定められた。新しい教会教育プログラムについて、教師の友編集委員会に黒田若雄委員長が出席して説明と協議の時もたれ、これに伴う新たな企画が準備されていることが報告された。第50回キリスト教教育主事認定試験を2011年3月11日に大阪クリスチャンセンターで実施することが決められた。(山畑謙報)



今総会期最後の教育委員会となった。

ユースミッション2011台湾基督教長老教会と日本基督教団との青年交流会については、「教団新報4708号」2面・2010年10月9日発行に、参加した青年による報告記事及び同じく参加者2名による感想文が掲載されています。新報編集部註。

東京教区の拠出は依然条件付き

2010 年 度 教 区 活 動 連 帯 金 配 分 協 議 会

2010年度教区活動連帯金配分協議会は、9月14日、教団会議室で開催された。出席者は、各教区総会議長および財務委員長(東海教区、沖縄教区は欠席)、教団宣教委員長、予算決算委員長、総幹事、財務幹事。加えて今回は常議員会のもとに新たに設置された教区活動連帯金検討委員の陪席も得た。なお、教団伝道委員長は欠席であった。教区活動連帯金配分検討委員会(以下、「検討委員会」)委員長である足田國磨(呂宋東教区議長が議長となり、開会祈禱・挨拶を行い、内藤留幸総幹事の挨拶を受け、協議に入った。前回記録の承認を巡り、前回同様、東海教区が脱退を表明しているのに記録に欠席者として記載されていることへの疑義が出された。協議会の本来の趣旨に鑑み欠席扱いとすることが確認され、前回記録は承認された。前回はこの制度のあり方に関して多くの時間を割き、様々な意見が出されたが、今回はこの会に先立つて開かれた全国財務委員長会議において協議の時間が設けられたこと、検討委員会が設置されたことなどが、若干の意見交換にとどまった。検討委員会において制度が整えられ機能していくことへの期待感の表れでもあろう。検討委員会から全教区参加を前提とした2011年度配分案が提示され、各教区がそれについての意思を表明した。その内容は、西東京教区、中部教区が持ち帰って検討、神奈川教区は拠出額450万円(提示額は495万円)として受け入れる、東京教区は兵庫教区から阪神淡路大震災一次募金の残金が教団に入金されたことを確認次第、喜んで拠出額を受け入れる、その他の教区は原案通り受け入れるであった。2010年度の検討委員会には北海教区議長、東京教区議長、兵庫教区議長、東中国教区議長が選任された。この検討委員会で先の各教区の意思表明を反映させた形で2011年度配分額を決定することになる。(柴田もゆる報)

「But I am among you as one who serves.」(Luke 22:27)

アンネー・ブゼル (Anny Syrena Buzzell, 1866-1936) は、父オリバーの次女として、マサチューセッツ州ローエル市に生まれた。その後、一家は 1877 年、ネブラスカ州のジュニアタに定住した。両親は、ユグノー派(フランスのカルヴァン派の新教徒)の家系の出身であった。父は農業に従事するとともに、伝道にも参加し、のちにジュニア



タのパテスタ教会牧師となった。このように敬虔な信仰と熱心な開拓伝道の精神に燃える家庭で、アンネーは育てられた。姉のミネー・ブゼルも、1884 年秋、中国の汕頭(フタトウ)に宣教師として派遣され、3 年間宣教活動に従事した。

アンネーは、このような両親や姉の影響を強く受け、海外伝道を志すようになった。そして、ギッポン・パテスタ神学校を卒業し、6 年間小学校で教えた後、1892 年 4 月、米国婦人パテスタ外国伝道協会の宣教師に任命された。26 歳の時である。1892 年という年は、日本では明治 25 年である。

この頃、東北地方の仙台では、米国パテスタ外国伝道協会から派遣された独身女性宣教師たちが、英語教師として活動していた。当時は外国人そのものがとても珍しかった。だから、彼女たちは自分たちの任務を十分遂行するために、女性や子どもに直接働きか

ける日本人女性の協力が絶対に必要であると痛感した。そこで、彼女たちはバイブル・ウーマンの養成に取り組んだ。それはやがて家塾の形をとった。すなわち、自宅に少女たちを同居させ、教育と生活訓練を行ったのである。そして、その家塾は、1892 年(明治 25 年)8 月、尚綱女学会という学校に発展した。創立者は、米国人ラヴィニア・ミード(Lavinia Mead, 1859-1941)である。アンネーは、1892 年 11 月に仙台に到着し、ミードの良き協力者として尚綱女学会の運営にあたった。発足時の生徒数はわずかに 9 名であったと記録されている。

とここで、「尚綱」という校名は、中国の古典『中庸』(ちゅうよう)の一節「衣錦尚綱」(いきんしょうこう)からとったものである。これは、「たとえ内側に立派な錦織の着物を着ていても、その上に粗末な打ち掛けを重ねて着

宣教師からの声

番外編

ブゼル先生の働き

東 義也

(尚綱学院大学教授)

「君子の道」を意味している。これを聞いたブゼルは、ペトロの手紙一 3 章 3? 4 節を示して、「この意味をもって学校の精神とすべきである」と熱心に主張した。以来、これが尚綱の建学の精神(尚綱の女子教育の理念)を現わす聖句となっており、今日に至っている。1899 年、尚綱は正式に設立認可を受け、尚綱女学校と改称された。ブゼルが初代校長となった。

ブゼルは校長としての校務を果たしながら、多くの授業を担当した。特に聖書の授業には、たいへんな心血を注いで行った。また、キリスト教教理史も教えた。その他にも、英語、音楽、育児法、編物の講義まで担当した。ブゼルは 1 週 28 時間の授業を行なっていたようである。また、彼女は学校の外でも忙しく働いた。市内の青年婦人会への指導、教会と自宅での讃美歌指導、10 以上の日曜学校の監督、セツルメン

トと自営館という貧しい人々が自営自活できるように作られた施設の管理・運営などである。彼女は、夏期休暇に一度も避暑に行かず、校内にとどまって訪問伝道をしたり、傷病兵や病人を慰問した。文字通り、献身と奉仕の生活をブゼルは実践した。

そして、もう一つ特記したいのは、男子高校生たちを招いて行われたバイブルクラスである。1893 年から 1919 年までの 27 年間、ブゼルは(旧制)第二高等学校の男子学生を対象にしたバイブルクラスを指導した。最初は 1 対 1 の聖書研究から始まり次第にメンバーが増え多くの受洗者を生み出した。そして、このバイブルクラスから牧師、大学教授、国会議員など日本の近代化に影響を与えた数多くの逸材が輩出された。中でも吉野作造は、政治学者で東京大学教授となり、大正デモクラシー運動の代名詞となった人物である。

彼は、1916 年(大正 5 年)に論文を発表して、日本は天皇主権だけれども、政治は国民のためにあると言った。そして、普通選挙制を説いた。彼の主張は、多くの人に支持され、1925 年、日本で初めて普通選挙法が可決、公布された。作造を始めとする彼らの思想の根底に、ブゼルの教えがあったことは明らかである。

現在、尚綱女学校は 2003 年より男女共学の尚綱学院大学となり、ブゼルの遺志を継いで今もなお発展を続けている。

- Kyodan Newsletter より -

第 50 回「キリスト教教育主事」認定試験公告

第 50 回(2011 年)「キリスト教教育主事」認定試験を次のとおり行います。

◆受験願書提出期限 2010 年 12 月 13 日(月)

(提出物 1~7 を教区に提出)

◆論文提出期限 2011 年 2 月 18 日(金)

(試験科目 8 の論文・教団教育委員会に提出)

◆試験期日 2011 年 3 月 11 日(金)

午前 11 時~午後 2 時

◆試験場所

〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-26-47

TEL 06-6761-8562

大阪クリスチャンセンター会議室

◆試験科目

イ. 筆記試験 日本基督教団教憲、教規および諸規則(60 分)

* 試験時間に日本基督教団「教憲教規および諸規則」を貸し出します

ロ. 面接

ハ. 論文 400 字詰原稿用紙 15~20 枚

「日本におけるキリスト教教育の歴史と展望」

◆提出物

以下の書類を整え必ず期限までに教区事務所に提出する。

1. 受験願書・所属教会主任教師の推薦書: 1 通

2. 履歴書・信仰歴: 1 通

3. 教区の推薦書: 1 通

(以上は教育委員会所定のもの)

4. 出身学校長の推薦書: 1 通

5. 出身学校成績証明書: 1 通

6. 「私はなぜキリスト教教育主事をめざすのか、召命との関連で」記述書 400 字詰原稿用紙 2 枚程度

7. 受験料 5,000 円

教育委員会所定の用紙は、〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本基督教団教育委員会に、住所、氏名を記した返信用封筒に 130 円切手を添えて請求してください。

◆問い合わせ

日本基督教団教育委員会 〒169-0051

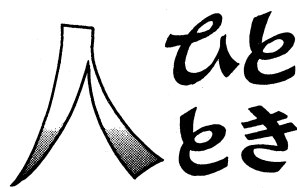
東京都新宿区西早稲田 2-3-18

TEL 03-3202-0544

FAX 03-3207-3918

2010 年 10 月

日本基督教団教育委員会 委員長 黒田若雄



島田 正彦さん

礼拝-神の恵みを生きる



1927 年生まれ、月寒教会員。妻の近子さんと共に。

「キリスト教信仰の奥深さをもっと受け止めたい」と情熱的に語る正彦さんは 83 歳。現代史の激動の時代を歩んできた。

勤め先の北海道庁で、クリスチャン同僚の感化を受け、幾つかの教会を経て、月寒教会の礼拝へと通うようになった。

受洗への大きなきっかけは、結婚を考えたことだった。

日本由来の封建的な家理解とは訣別したい。新憲法による新しい夫婦像。その根底にあるキリスト教信仰を家庭の基盤にしたいと願った。将来を約束した二人で共に求道し、信仰を共有した家庭形成を祈った。1962 年 9 月に結婚、クリスマスに揃って洗礼を受け、クリスチャン・ホームの出発となった。

以前、教会の会堂や備品を通してそこに積み重ねられてきた信仰生活の重みを味わうことができた幸いをお話することがあった。破れかけた讃美歌に会員がカバールを着けてくれた喜びを記したが、更

に今は聖書にもカバールが掛けられている。会堂にも備品にもその教会の歴史が刻まれて行くのは当然であるが、それは言葉を換えれば信仰の厚みが増えられていくことでもある。礼拝が繰り返され、信徒の信仰生活が積み重ねられていく場がそこにあり、活けるキリストの御体が指し示されている。

信仰生活の第一歩を踏み出した頃、日本社会は「政治の季節」の只中で、大きく揺れ動いていた。信仰と社会生活の関係、両者の結びつきが日々問いであった。大塚久雄氏や隅谷三喜男氏の著作から学び、また日本基督教団に連なる者として、同じ教団の教会である滝野川教会発行の月刊誌「形成」の購読が、まさに信仰と生活を形成する大きな力であったと語る。

家庭に一男一女を与えられた。子どもたちは教会に育ててもらった」と信仰継承について話す。息子さんは教会で伴侶と出会い、お孫さんたちも受洗して、第二代クリスチャン・ホームを形成。娘さんは、キリスト

信仰の厚み

聖餐式の折り、ぶどう液のグラスが何種類か用いられていることに気付いた。この教会に来て間もない自分であるが、長い教会の歴史の中で聖餐が繰り返され、グラスが刻まれており、今キリストに生きる者たちの信仰がまた刻まれていくのである。古いグラスも新しいグラスも用いられる器に過ぎない。会堂も備品もみなそうである。しかし、聖霊によってイエス・キリストの命と救いが差し出され、信仰によってそれが受け取られる場、それが教会なのである。

(教団副議長 佐々木美知夫)